

2026年3月2日
南海電気鉄道株式会社

なんばエリアが「選ばれるオフィスエリア」として「働きに来たくなる街」へ

パークスタワー7階を従業員専用ラウンジ・会議室 「PARKS PATIO」としてリニューアル

～テーマは「働く日常に寄り添う、心が整う静かな“裏庭”」。4月1日オープン～



ラウンジ(イメージ)

南海電気鉄道株式会社(代表取締役社長:岡嶋 信行、以下「南海電鉄」)は、パークスタワー7階の貸会議室エリアをリニューアルし、従業員専用ラウンジ・会議室「PARKS PATIO」として2026年4月1日にオープンします。本リニューアルでは、約678㎡の空間に、ランチタイムなどの息抜きに利用できるラウンジと様々なシーンに合わせ集中して打合せができる会議室等を一体化しました。さらに、都市にいなながら自然とのつながりを感じられる空間を目指し、アーティストとコラボしたサウンドやアートワークによる演出も取り入れています。オフィスワーカーの声を反映し、ラウンジデザインはワーカーによる投票で決定するなど、入居者とともに作り上げるプロセスを重視しました。パークスタワーで働く方限定で、ラウンジは無料、会議室は有料にてご利用いただけます。

南海電鉄は2019年から、なんばエリアを「選ばれるオフィスエリア」とするため、当社が携わるなんばエリアのオフィス物件で働く方々向けにワーカーサポート施策「NANKAI NAMBA WORKERS」を展開してきました。これまで、なんばスカイオ10階に従業員専用ラウンジ「スカイオラウンジ」を開設したり、ビジネス支援や商業施設・イベントでご利用いただける従業員特典をご提供したりするなど、様々な取り組みを進めてきました。さらに、昨年発表した「NANKAIグループ中期経営計画 2025-2027」では、「既存領域の深度化」を掲げ、保有施設のブラッシュアップを通じて、なんばエリアの価値向上と「グレーターなんば構想」の実現を推進しています。

大阪で働く場所といえば、梅田や淀屋橋などを思い浮かべる方が多く、難波は「観光」や「娯楽」の街というイメージが根強くあります。しかし、なんばエリアには、パークスタワーやなんばスカイオ、なんばパークスサウススクエアなどのハイグレードオフィスが集積し、さらに「観光」や「娯楽」機能も兼ね備えていることは、働く人にとって魅力の一つです。今後も南海電鉄は、なんばで働くワーカーを支え、「楽しそう」「ワクワクする」オフィスエリアというイメージを醸成していきます。

リニューアル概要



LOUNGE①

お弁当をご持参いただいたのランチタイムや、少人数でのカジュアルな打ち合わせなど、多様なシーンでご利用いただける空間です。



LOUNGE②

気分転換に場所を変えて集中して作業したいときや、ひとりでゆっくりとランチを楽しみたいときなどにもご利用いただけるエリアです。



会議室

大小さまざまな会議室をご用意し、カジュアルな面談から約30名規模の会議まで、幅広いシーンでご利用いただけます。



BUSINESS LOUNGE & RELAX ROOM

会議までの待ち時間を有意義にお過ごしいただける空間と、心身をリセットしていただく“リラクセスに特化した空間”で構成しています。

【リニューアルの特徴】

1. サウンドによる空間演出

都市の中にながら自然とのつながりを感じていただける空間を目指し、アーティスト・Masahiko Takeda 氏、kafuka 氏とコラボレーションを実施。

オフィスワーカーにとって馴染みのある難波駅周辺や、南海沿線を代表する高野山エリアにて環境音を収録し、来訪される方が無意識のうちに心を落ち着かせられる空間づくりを行っています。

2. なんばの街とつながる空間演出とアートワーク

なんばを代表する商業施設「なんばパークス」に隣接するオフィスビルとして、同施設の象徴的な“グランドキャニオン”をモチーフにした、有機的な曲線デザインをラウンジ内に取り入れています。

また、周辺施設テナントから提供を受けた廃材を活用した小沢敦志氏によるアート作品や、パークスガーデンの植栽を利用した bulbus SYO TANii / 谷井 聖氏のアート作品、テナント企業でもある株式会社ダイカン製作のサインを導入。

商業エリアやパークスガーデンとのつながりを、視覚的にも感じていただける空間づくりを行っています。

3. オフィスビル全体でつくりあげる共創プロセス

毎年実施しているワーカーアンケートに加え、日常的に寄せられるオフィスワーカーの声をもとに、本エリアの計画を進めてきました。

ラウンジデザインはワーカーによる投票により決定したほか、サウンド制作においてはワークショップイベントを開催。ビル入居者の皆さまと共に空間をつくり上げるプロセスを重視しながら、計画・整備を行いました。



Masahiko Takeda 氏・kafuka 氏



OZA METALSTUDIO/小沢敦志



bulbus SYO TANII /谷井 聖氏



株式会社ダイカン

※順不同

【ご参考】設計・施工を手掛けた「乃村工芸社」について

商業施設、ホテル、企業 PR 施設、ワークプレイス、博覧会、博物館などの企画、デザイン、設計、施工から運営管理までを手掛ける空間の総合プロデュース企業です。グループ全体では、全国11拠点・海外9拠点、国内外7つのグループ会社で事業展開しています。1892年(明治25年)から培ってきた総合力を活かし、フィジカルとバーチャルを融合させた空間価値の提供で、人びとに「歓びと感動」をお届けしています。

(企業サイト URL) <https://www.nomurakougei.co.jp/>

【担当デザイナーより本プロジェクトにおけるコメント】

本プロジェクトでは、オフィスワーカーの皆さまが日々の業務に向き合う前後で心を整えられる”特別な裏庭“を実現すべく、ラウンジと会議室の再構成を担当させていただきました。なんばパークスの有機的な風景や光・緑のゆらぎを室内に取り込みながら、サウンドやアートワークが空間に穏やかな変化を添えるよう計画し、気分や用途に応じて選べる多様な居場所を構成しています。集中して仕事に臨む時間から、静かに気持ちを整えるひとときまで、日常の拠点としてご活用いただければ幸いです。

乃村工芸社

【ご参考】パークスタワーについて

2003年のオープン以来、国内最大級の複合緑化都市として進化を続ける「なんばパークス」。そのランドマークが、高さ150m、地上30階のオフィスビル「パークスタワー」です。

オフィスワーカーが求める快適性と利便性を備えたハイクオリティ・オフィスビルとして、関西ビジネスシーンのシンボリック存在です。



【物件概要】

物 件 名	PARKS TOWER (パークスタワー)
所 在 地	大阪市浪速区難波中2丁目10番70号
交 通	Osaka Metro 御堂筋線「なんば駅」徒歩5分
規 模	地下3階、地上30階、搭屋2階
竣 工 日	2003年8月
賃 貸 面 積	11,014坪/36,410㎡
延 床 面 積	18,150坪/60,000㎡
基 準 階 面 積	低層(9~18階)432.21坪/高層(22~30階)446.22坪
物 件 H P	パークスタワー概要 なんばパークス -NAMBA PARKS-

【オフィス入居希望の方のお問合せ先】

南海電気鉄道株式会社 不動産営業部 担当: 泉永(tel:070-7825-5567)